

1. まちづくり計画書の目的と基本姿勢

平成19（2007）年・熊本城築城400年、平成23（2011）年・九州新幹線熊本駅開業をチャンスとして捉え、新町・古町地区一帯のまちづくりの目標像を共有しながら、地域住民と熊本市が力を合わせて取り組む事業を発掘することを当計画の目的としている。

現在、地区内では複数の団体によって、自主的なまちづくり活動が進められている。その多くは、子どもを安心して育てられる環境、高齢者がのびのびと余生を送ることのできる環境、小規模事業者が意欲的に仕事に取り組める環境を回復するという「生活環境の回復」を目標としている。都市はそのような地域住民の生き様の現われであり、ゆえに教育の場でありかつ真に観光の場となりうる。そこで、当計画の目的である「事業の発掘」にあたっては、地区内で取組まれているそのような活動を尊重し、それらの活動や事業の延長として計画を立案することとした。



新町：4つの門と堀に囲まれた短冊状の町割
古町：寺を中央に配した120m角の碁盤目状（1町1寺）の町割

坪井川、白川は現在も町の骨格を成している
古町・新町地区の町割は大きく変わらない
町割をぬうように市電が走る



目次

- 1. まちづくり計画書の目的と基本姿勢 1
- 2. まちづくり推進にあたっての4つの方針 2
- 3. 協働まちづくり事業 4
 - (1) 事業メニュー / 4
 - (2) 事業概要 / 6
 - (3) 事業スケジュール / 12
 - (4) 事業イメージ / 14
- 4. 事業推進体制案 22

- 名簿
- 検討経過

2. まちづくり推進にあたっての4つの方針

熊本駅都心間協働のまちづくりを推進するにあたり、以下の4点を基本的な方針とする。

(1) 共通の目標を持ち、協働のまちづくりを推進する [当計画の取り組み姿勢]

新町・古町地区は、熊本駅と熊本城・都心の間位置し、熊本城に隣接する城下町として町割を今にとどめる個性豊かで趣のある地域である。当地域固有のそれらの財産を活かすために共通の目標像を共有しながら、まちづくりを推進することが重要である。

また、熊本城の復元整備が積極的に進められ、新幹線開業時において、他都市にない熊本独自の個性を開示することが期待されている現在、城下町の面白さ、興味深さは最後に残された地域創造の有力な種と考えられる。

そこで、本計画では共通の目標像として

「城下町都市くまもと」

を掲げ、①「城下町・くまもと」の印象をより鮮明にする事業、②熊本を語る物語を発掘・継承していく事業、③このまちに「誇りをもって子ども達に継承し、住みたいまち、住み続けたいまち」を実現するための事業、という3つの事業の方向づけを行う。

(2) 多くの事業主体による自主的な取り組みを促進する [まちづくり団体事業]

当地域では複数の団体によって自主的なまちづくり活動が進められている。本まちづくり計画の推進にあたっては、①そのように既に着手されている事業の延長として今後取り組むことが望まれる事業に加え、②上記(1)の目標像を具現化するという視点から構想される事業を掘り起こし、事業メニューとして整理する。

このようなまちづくり団体事業は、持続可能な社会の再構築に不可欠の活動であり、行政の積極的な支援策が求められる。

- | | | | |
|------|------------------|----------------|---------------|
| 地元組織 | ・自治会 (子供会・老人会含む) | ・五福ふれあいまちづくりの会 | ・一新まちづくりの会 |
| | ・社会福祉協議会 | ・尚齒会 | ・一新地域商店会連絡協議会 |
| | ・民生委員 | ・風流街商栄会 | ・新町獅子保存会 |
| | | ・慶徳校区まちづくり委員会 | ・熊本まちなみトラスト |
| | | ・唐人町通り繁栄会 | など |
| | | ・河原町文化開発研究所 | |

(3) モデル事業で地域 (新町・古町地区) のまとまりをつける [団体協働事業]

一つの事業に複数の市民団体が協働で取り組むことによって、それが刺激となって各団体の活動に弾みをつけるとともに、新町・古町地区全体のまとまりが生まれ、外部から見てわかりやすくなるという効果が得られる。モデル事業として、例えば「街の駅」事業が考えられる。新町・古町地区全域で20ヶ所程度の事業所の参加が得られればかなりの効果が期待される。この事業では、地区内にある複数の団体の参加によって地区全体をカバーすることが必要とされ、そのように時として一つの事業に複数の市民団体が協働で取り組むことで、各団体における新たな発見も生まれるであろう。

また、地区のイベント・祭りなどでも複数団体による協働事業が考えられる。たとえば、近似した期間に開催されるイベントを共通のポスターに掲載することで、来街者への訴求効果が高まり、協働の主催という下からの積み上げによる「城下町まつり」が生まれる可能性もある。

(4) 公共事業への住民参加 [公共事業]

公共施設整備の計画、設計工事、管理運営の各段階で地域住民の参加を得ることによって様々な利点が生まれる。たとえば、歩きやすい歩道や緑化による修景を目的とした公共事業が、住民(使い手)の参加によってムダのない適切な整備内容になるとともに、たとえば歩道の清掃や緑の管理などの自主的な行為を促すことにつながる。さらには、公共施設の機能を住民が理解することによって、危機管理に対する意識も向上することにつながる。これらの住民の意識と行為が長期的に見ると財政の大幅な削減効果をもたらすものと思われる。

公共事業への住民参加は、①計画・設計への住民参加と②管理・運営への住民参加というように2つに大きく分けられ、後者はさらに住民による自主的な活動からルールや契約に基づく管理委託まで幅のある取り組みが想定される。

3. 協働のまちづくり事業

(1) 事業メニュー

まちづくりの目標像と3つの事業の方向づけに基づく、24事業を下表に示す。

まちづくりの目標像		住民主導事業への公的支援		公共事業への住民参加		
事業の方向づけ		新町地区（一新校区）		古町地区（慶徳校区、五福校区）		
城下町都市くまもと	1 『城下町・くまもと』の印象を鮮明にする	1 柳御門づくりと4つの門の復活提案 [船場橋際に柳を植える(現代の「門」として) [新一丁目御門、新三丁目御門、高麗門、段山御門]	3 おてもやん顕彰事業 [おてもやんに関する情報収集と像の設置・催し]	1 2 3 道路・広場・公園の整備 (4つの御門、おてもやん広場、森の都の散歩道、お宝路地など)	5 11	
		2 古城堀端水路(堀)整備提案 [堀の一部復元と屋形船の船着き場整備]	4 景観形成広場整備の提案と運営 [おてもやん広場、明八橋広場など景観形成地点での緑化修景]	4 11	バス停・市電停車場周辺環境整備事業 4 [待ちあい空間の緑陰づくりによる景観形成]	
		6 電線地中化促進の申し入れ・緑化	5 森の都の散歩道提案 [日銀前や市電通りにおける緑道提案]	6 電線地中化事業 6		
	モデル事業による 団体協働事業	7 坪井川川遊び(屋形船)事業 [平成17年7月15日熊本城城]	(川(塘)歩き、清掃、勉強会含む) 下町精霊流し(60年ぶりの復活)	坪井川親水化(船着き場)整備事業 7 坪井川遊歩道整備事業		
		8 人力車による回遊 [歩行補助手段の具体化]	(ベロタクシーによる回遊含む)			
	2 熊本を語る物語を 発掘・継承していく	9 一新勉強会の開催 [一新の歴史学習と住民意識啓発の場づくり]	9 古町歴史調査 町名の由来(町名と業種)、お寺の故事 来歴、町の歴史とお宝 一町一寺古町案内ポイント情報収集 [明八橋、鍛冶屋町公園、小沢町、阿弥陀寺町等] (地名研究会との合同)	11 空店舗活用支援事業 11 (お宝路地) [お宝路地形成のための支援]		
		11 お宝路地づくり【空地・空店舗活用】 [食と職の一新のお宝を集めた通りをつくる] [案内の起点とする]	12 マップ作成事業 案内ルート (明八橋・明十橋坪井川回遊) (河原町・万町モノづくり探索ルート) (細工町・小沢町歴史探訪)等	平成17年度開発景観課事業へ参加		
		12 マップ作成事業 地蔵御利益健康ウォーク [地蔵の云われから御利益マップ作成]	15 旧食糧会館再生案作成事業 【空地・空店舗活用】 [古町の史料展示と城下町案内拠点]	城下町交流施設整備事業 14 15		
		13 「一新結婚式お披露目物語」 [一新の歴史文化で一生一度の晴れ舞台をおもてなし。熊本城で挙式→記念撮影→お披露目行列→一新の芸と食で披露宴→職の引き出物→川遊び→宿泊→出産→人生節目のお祝い→城で挙式…]	(老舗の看板・ショーウィンドーづくり事業含む)	総合的サイン整備(案内サイン、誘導サイン、説明サイン) 10 12 16		
	モデル事業による 団体協働事業	10 旧町名・社寺等説明サイン事業 (地名研究会との合同)	(まち案内ボランティア事業を含む) [講習会とシステムづくり]			
	16 まちの駅の設置、運営事業 [マップ等の情報提供、休憩などのできる店舗群で運営]					
	17 既存イベントの連携・紹介事業 [合同ポスター制作などで連携・相互紹介]					
3 誇りをもって子ども達 に継承していける 住みたいまち、 住み続けたいまち	18 まち並みの約束事づくり 城下町独自の店づくり	18 まち並み憲章作成事業 [景観づくり緑化、まち並みの色使い、看板、駐車場の配置など]	18 地区計画等による街並み形成支援 18 (都市計画の見直し-防火・準防火/用途地域-)			
	22 JR、市電への提案 [済生会病院跡付近にJR在来線新駅の開設] [市電の新路線：祇園橋→新町→上熊本新路線提案]	19 町屋研究会 [防災体制づくり、木造改築研究]	24 熊本市景観建造物改修支援事業 24			
	モデル事業による 団体協働事業	20 生活道路研究会 [一方通行等歩行者優先、路地園芸]	市電の新ライン開設 22 [祇園橋→新町→上熊本新路線開設]			
		21 空地・空店舗活用イベント事業 [保存と活用の使い手探しのための取組み]				
		23 景観形成建造物の保存と活用の組織づくり事業 [新町・古町らしい建造物の情報収集と保存活用のための組織化]				

(2) 事業概要

事業の方向づけ1:『城下町・くまもと』の印象を鮮明にする

*1「地区と分類」:「新町地区の団体」「古町地区の団体」「団体を横断する取り組み」「公共」の4つの区分とした
 *2「事業種別」:「調査研究」「提案」「整備」「催し」「運営」の5つの区分とした

地区と分類*1	事業種別*2	事業	事業内容と事業手順	事業のポイント	先導者 <事業協力>	短期 H17-19 (2005-07)	中期 H20-23 (2008-11)	長期 H24以降 (2012-)	事業位置	
1	新町	提案	柳御門づくりと4つの門復活提案	①船場橋際に柳を植える(現代の「門」として) ②新一丁目御門、新三丁目御門、高麗門、段山御門の整備内容の検討と提案	・総曲輪であった特徴を現在に伝え、城下町としての個性を強める整備内容	一新まちづくりの会	◎ ・柳の植樹 ・整備提案		船場橋際 元標周辺(新一丁目門) 明八橋北(新三丁目門) 高麗門、段山御門	
2	新町	提案	古城堀端水路(堀)整備提案	①古城堀の浚渫 ②堀の一部復活と屋形船の船着き場整備提案	・総曲輪の一部としての整備と坪井川遊覧との連携を図る	一新まちづくりの会	提案	◎ 整備	古城堀端	
3	古町	催し	おてもやん顕彰事業	①おてもやん物語の編集(郷土史家監修) ②おてもやん祭りの企画・実施 ③広報(おてもやん物語、祭りのパンフレット作成、新聞掲載)	・最近明らかになってきたおてもやんにまつわる物語を取組みに反映させる	五福ふれあいまちづくりの会 <事業協力> 郷土史家 熊本市	◎ → 毎年祭りを継続 運営		ポケットパーク 祇園橋際(細工町)	
4	古町	提案 運営	景観形成広場の整備・運営提案	①体制づくり ②修景内容・管理運営案の検討・作成 ③管理運営に関する取り決め	・重要ポイントなので3ヶ所に限定せず、街の拠点である公園なども含め整備内容の連携を図る	慶徳校区まちづくり委員会 河原町文化開発研究所 国土交通省	提案	◎ 整備	運営	河原町交差点 呉服町バス停周辺 明八橋、鍛冶屋町公園 紺屋阿弥陀寺町等
5	古町	提案	森の都の散策道	①緑化手法の検討 ②路線や区間の検討 ③森の都の散策道の提案	・緑の効果を活用した憩いの空間づくり、ゆっくりと人が歩ける安全な道づくり	慶徳校区まちづくり委員会 五福ふれあいまちづくりの会 熊本市	提案	○ 整備		日銀前通り 電車通り
6	新町 古町	提案	電線地中化	①電線地中化の路線設定 ②関係機関への申入れ	・加藤清正公が造った街割から見える金峰山の見える景色を大切に	慶徳校区まちづくり委員会 風流街商栄会 熊本市	提案	○ 順次整備		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
7	団体 協働	提案 運営	坪井川川遊び(屋形船)事業	①川歩き(ウォッチング、川どもと川の中を歩く体験) ②川の清掃 ③川に近づける環境整備の提案(沿線状況を地図化、整備の提案) ④川遊び勉強会と屋形船運営の提案	・新町・古町の連携体制	五福ふれあいまちづくりの会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会 熊本市・熊本県	◎ ①②③	→ ④		坪井川 ・坪井川沿線
8	団体 協働	提案 運営	人力車(ベロタクシー)による回遊研究	①人力車、ベロタクシーの事例研究 ②運営の検討 ③道路管理者や警察との協議	・新町・古町の連携体制	熊本まちなみトラスト 風流街商栄会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会 熊本市	○ 研究・協議	→ 運営		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
1・2 3・5 11	公共	整備	道路・広場・公園の整備	1. ワークショップ開催・運営[整備担当課主催] 地元との整備内容の検討と予算内での調整を行う 2. 設計・整備	・設計段階での地元の参加 ・地元管理の可能性	熊本市 熊本県 国土交通省	◎ 整備検討 ワークショップ 整備	→ 順次整備		1 新町5門 2 古城堀端整備 3 おてもやんパーク 5 森の都の散策道 11 お宝路地
4	公共	整備	バス停・市電停車場周辺環境整備事業	1. ワークショップ開催・運営[整備担当課主催] 地元との整備内容の検討と予算内での調整を行う 2. 設計・整備	・公共交通機関の待合空間であり、観光客への案内ポイント、景観ポイントとしての整備内容	熊本市	○ 整備検討 ワークショップ	◎ 整備		河原町交差点 呉服町バス停周辺 明八橋、鍛冶屋町公園 紺屋阿弥陀寺町等
6	公共	整備	電線地中化事業	1. 整備予定路線沿線ワークショップ開催・運営[整備担当課主催] 地元との整備内容の検討と予算内での調整を行う 2. 設計・整備	・提案を受けて、整備路線の優先順位の設定。道路管理者との調整。	熊本市 熊本県	○ 整備検討 ワークショップ	◎ 整備		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
7	公共	整備	坪井川整備事業	1. これまでの経緯と技術的検討会[整備担当課主催] 2. ワークショップ開催・運営 地元との整備内容の検討と予算内での調整を行う 3. 設計・整備	・これまでの経緯を踏まえた坪井川整備のあり方についての合意形成	熊本県 熊本市		○ 整備検討 ワークショップ		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)

事業の方向づけ2：熊本を語る物語を発掘・継承していく

*1「地区と分類」：「新町地区の団体」「古町地区の団体」「団体を横断する取り組み」「公共」の4つの区分とした
 *2「事業種別」：「調査研究」「提案」「整備」「催し」「運営」の5つの区分とした

地区と事業分類*1	事業種別*2	事業	事業内容と事業手順	事業のポイント	先導者 <事業協力>	短期 H17-19 (2005-07)	中期 H20-23 (2008-11)	長期 H24以降 (2012-)	事業位置
9	新町 古町	調査 研究	一新勉強会 古町歴史調査	①勉強会開催（地図を広げて地元の方から話を聞く） ・聞き取り対象者、歴史資源の内容・位置 ②情報の収集・加工・編集・蓄積・広報	・小学校と連携を図る ・新住民も参加できるよう校区ぐるみで広報	一新まちづくりの会 風流街女衆の集い 慶徳校区まちづくり委員会	◎	→ 継続	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
10	団体 協働	提案	旧町名・社寺等 説明サイン提案	①サインの表示、説明内容、位置の抽出 ②デザインの基本コンセプトとりまとめ ③サインデザインのプロポーザル条件とりまとめ	・サインデザインのプロポーザル 実施と地元や地名研究会などの 審査への参加	一新まちづくりの会 風流街女衆の集い 慶徳校区まちづくり委員会	◎ 提案		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
11	新町	提案 整備 運営	お宝路地 づくり	①地区内事業者のアンテナショップ出店意向集約 ②路地と空店舗の検討・案決定 ③通りの環境整備等の提案	・地区内事業者の参画 ・通りの環境整備と駐車場の配 置	一新地域商店会連絡協議会	◎ 提案	→ 整備・運営	新町中職人町(案)
12	新町 古町	運営	マップ作成事業	①地区別マップ資源の収集・整理 ②マップ作成協力者の登録 ③マップ出力場所リストと出力サービス（料金等）設定 ④街の駅への運用	・最新情報による版づくりのシ ステム化	一新まちづくりの会 風流街女衆の集い 慶徳校区まちづくり委員会	◎ 作成	→ 更新	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
13	新町	運営	一新結婚式お 披露目物語	熊本城と新町を舞台に結婚式・練り歩き・披露宴・記念写真・引 き出物など新町のもので全行程をまかなう。	・運営母体づくり	一新地域商店会連絡協議会	◎ 調査	→ 運営	熊本城・新町
14	新町	提案 運営	一新歴史資料 館提案	城下町の古文書や新町獅子舞の史料などを集約して展示。 ①施設全体及び展示コンセプトの提案 ②収蔵品のリスト、概要、物語の提案	・物語にして提示できる史料に	一新まちづくりの会	◎ 提案		済生会病院跡地 (案)
15	古町	提案 運営	旧食糧会館再生 提案	①交流機能及びその他の導入機能の検討 ②移転場所の検討 ③運営案、運営組織の検討 ④旧食糧会館再生提案	・移転場所の選定	五福ふれあいまちづくりの会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会	◎ 提案		古町地区内 (五福・慶徳)
16	団体 協働	提案 運営	まちの駅設置・ 運営事業	①街の駅公募 ②応募事業者（店）のサービス内容の調査 ③システム・ルール等に関する運営母体（管理者）の設置 ④街の駅の運用	・参加事業所の数と配置 ・サインのデザイン	熊本まちなみトラスト 風流街商栄会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会 熊本市	◎ 試行 運営		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
17	団体 協働	運営	既存イベントの 連携・紹介事業	①城下町まつり企画会議の発足 ②情報発信方法の協議 ③ポスター、HP等の作成と情報発信	・効果的な連携方法 ・情報集約・発信拠点	唐人町通り繁栄会 風流街商栄会 一新地域商店会連絡協議会 河原町文化開発研究所 熊本TMO	◎ 会議開催 情報発信		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
11	公共	整備	空店舗活用支援 事業	1. 制度の検討、支援内容の審議 2. 空店舗改修（支援） 3. 周辺環境整備	・お宝路地出店者との連携	熊本市 熊本TMO	◎ 支援検討	◎ 支援	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
10・ 12・ 16	公共	整備	総合的サイン整 備事業	1. サイン設置箇所、サイン内容の地元協議 2. サインデザインのプロポーザル（審査・地元参加） 3. プロポーザル決定案の調整 4. 整備	・サインデザインの審査等への 地元参加	熊本市 熊本県 熊本ファッション協会 熊本TMO	◎ 整備		新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
14・ 15	公共	整備	城下町交流施設 整備事業	1. 再生計画・運営計画案作成 2. 候補地の検討・決定 3. 再生計画及び運営案の地元との協議・調整 4. 整備、運営	・地元との協議・調整 ・運営母体づくり	熊本県 熊本市	◎ 整備検討 計画作成	◎ 整備	新町・古町 (一新・慶徳・五福)

事業の方向づけ3：誇りをもって子どもたちに継承していける
住みたいまち、住み続けたいまち

*1「地区と分類」：「新町地区の団体」「古町地区の団体」「団体を横断する取り組み」「公共」の4つの区分とした
*2「事業種別」：「調査研究」「提案」「整備」「催し」「運営」の5つの区分とした

	地区と 分類*1	事業 種別*2	事業	事業内容と事業手順	事業のポイント	先導者 <事業協力>	短期 H17-19 (2005-07)	中期 H20-23 (2008-11)	長期 H24以降 (2012-)	事業位置
18	新町 古町	研究 運営	街並みルールづくり・城下町独自の店づくり	①街並みウォッチング ②街並みと店づくりの目標像（イメージ）づくり ③地区計画、協定などの検討	・目標像(総論)の合意形成とルール(各論)づくり	五福ふれあいまちづくりの会 風流街商栄会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会 一新地域商店会連絡協議会	◎ 勉強会 開催	○ 合意 形成	→ 運用	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
19	新町 古町	調査 研究	町屋研究会	①今に残る町屋の抽出 ②改装、建替え事例の研究 ③町屋活用のための研究	・新しい居住者、使い手の発掘	五福ふれあいまちづくりの会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会	◎ 研究会 立上げ		→	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
20	新町 古町	調査 研究	生活道路 研究会	①公共事業の住民参加ルールづくり ②一方通行等の試行実験 ③路地園芸の実践 ④通り抜け道（パッサージュ）研究	・人のためのやわらかな空間づくり	五福ふれあいまちづくりの会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会	◎ 研究 試行		→	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
21	古町	催し	空地・空店舗活用イベント事業	①空地・空店舗情報の集まる仕組みづくり（情報の提供と整理） ②試行イベント事業	・新しい使い手を探すという 目的の明確化	五福ふれあいまちづくりの会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会 熊本まちなみトラスト	◎ 研究 試行		→	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
22	新町	提案	J R・市電への 提案	済生会病院跡付近にJ R在来線新駅の開設 市電の祇園橋から新町までの新路線の開設提案	・整備費用と需要	一新まちづくりの会	○ 提案 整備検討	ワークショップ 整備		市電：祇園橋-新町 J R：済生会病院跡地
23	団体 協働	提案 運営	景観形成建造物の 保存と活用の 組織づくり事業	①空地・空店舗情報の集まる仕組みづくり（情報の収集と整理） ②家主さん交流会	・景観形成建造物候補のリスト 作成及びオーナーとの交流	五福ふれあいまちづくりの会 慶徳校区まちづくり委員会 一新まちづくりの会 熊本まちなみトラスト	◎ 研究 組織化		→ 交流会	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
24	公共	整備 運営	熊本市景観形成 建造物改修支援 事業	①景観形成建造物の指定 ②指定建造物の改修支援	・景観形成建造物の指定の拡充	熊本市			→ 支援	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
18	公共	研究	地区計画等による 街並み形成支援	①街並み形成のための調査 ②勉強会の開催 ③ルールづくりのための支援	・地区計画など勉強会の進め方	熊本市	◎ 勉強会 開催	○ 合意 形成	→ 運用	新町・古町一帯 (一新・慶徳・五福)
22	公共	整備	市電新ラインの 開設	新ラインの可能性調査（技術的及び需要）と整備の検討	・整備費用と需要	熊本市	整備検討	○ ワークショップ 整備		市電：祇園橋-新町 J R：済生会病院跡地

◎重点事業

(3) 事業スケジュール

事業の方向づけ	地区と 分類*1	事業 種別*2	事業	短期			中期				長期	
				2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	
『城下町・くまもと』 の印象を 鮮明にする	1	新町 (公共)	提案 (整備)	柳御門づくりと4つの門復活提案／(道路・広場・公園の整備)	提案→柳の植樹→整備検討			(ワークショップ→整備)				1
	2	新町 (公共)	提案 (整備)	古城掘端水路整備提案／(道路・広場・公園の整備)	提案→整備検討	(ワークショップ→整備)						2
	3	古町 (公共)	催し (整備)	おてもやん顕彰事業／(道路・広場・公園の整備)	おてもやん情報の収集→毎年祭を継続・運営							3
	4	古町 (公共)	提案 運営 (整備)	景観形成広場の整備・運営提案／(バス停・市電停車場周辺環境整備事業) ／(道路・広場・公園の整備)	提案→整備検討	(ワークショップ→整備)					(運営)	4
	5	古町 (公共)	提案 (整備)	森の都の散策道提案／(道路・広場・公園の整備)	提案→整備検討			(ワークショップ→整備)				5
	6	新町 古町 (公共)	提案 (整備)	電線地中化	提案→ワークショップ→整備							6
	7	団体 協働 (公共)	提案 運営 (整備)	坪井川川遊び(屋形船)事業／(坪井川整備事業)	川歩き→清掃→環境整備研究→整備検討			(ワークショップ→整備)			(運営)	7
	8	団体 協働	提案 運営	人力車(ベロタクシー)による回遊研究	調査研究→運営検討→道路管理者協議			(運営)				8
熊本を語る物語を 発掘・継承 していく	9	新町	調査 研究	一新勉強会・古町歴史調査	調査→継続							9
	10	団体 協働 (公共)	提案 (整備)	旧町名・社寺等説明サイン提案／(総合的サイン整備事業)	提案							10
	11	新町 (公共)	提案 運営 (整備)	お宝路地づくり／(空店舗活用支援事業)	提案→整備検討	(ワークショップ→整備)		(運営)				11
	12	新町 古町 (公共)	運営 (整備)	マップ作成事業／(総合的サイン整備事業)	調査→	作成→		更新→			更新→	12
	13	新町	運営	一新結婚式お披露目物語	調査研究→	実施→		運営→				13
	14	新町 (公共)	提案 運営 (整備)	一新歴史資料館提案／(城下町交流施設整備事業)	調査・運営検討→提案→整備検討			(ワークショップ→整備)			(運営)	14
	15	古町 (公共)	提案 運営 (整備)	旧食糧会館再生提案／(城下町交流施設整備事業)	調査・運営検討→提案→整備検討			(ワークショップ→整備)			(運営)	15
	16	団体 協働 (公共)	提案 運営 (整備)	まちの駅設置・運営事業／(総合的サイン整備事業)	試行→提案→	サイン整備→	運営					16
	17	団体 協働	運営	既存イベントの連携・紹介事業	城下町まつり企画会議→連携情報発信→							17
誇りをもって子 どもたちに継承 していける 住みたいまち、 住み続けたいま	18	新町 古町 (公共)	研究 運営	街並みルールづくり・城下町独自の店づくり／(地区計画等による街並み形成支援)		勉強会開催→		合意形成→			運用→	18
	19	新町 古町	調査 研究	町屋研究会		調査研究→						19
	20	新町 古町	調査 研究	生活道路研究会		調査研究→	一方通行等の試行→	路地園芸実践→				20
	21	古町	催し	空地・空店舗活用イベント事業		試行→検証→	イベント実施					21
	22	新町 (公共)	提案 (整備)	JR・市電への提案／(市電新ラインの開設)	提案→整備検討			(ワークショップ→整備)			(運営)	22
	23	団体 協働	提案 運営	景観形成建造物の保存と活用の組織づくり事業	地元自治会等との連携による情報収集→家主さん交流会→							23
	24	公共	整備 運営	熊本市景観形成建造物改修支援事業	調査→指定／改修支援の継続							24

(4) 事業イメージ

①まちづくり団体による自主事業

慶徳・五福校区の古町地区、一新校区の新町地区では、まちづくりや商店街振興を目的とした複数の団体があり、地区内外の子どもからお年寄りまでを対象に様々な活動が行われている。熊本駅と都心・熊本城を結ぶ地区での市民・来街者の活動を活発化するためには、これらの団体の活動や事業を基本として、新たな取組みもその延長線上で組み立てることが肝要である。

[まちづくり団体事業]

- 9. 一新勉強会の開催/古町歴史調査事業
- 11. お宝路地づくり
- 12. マップ作成事業 (地藏御利益健康ウォーク/案内ルート)
- 13. 「一新結婚式お披露目物語」事業
- 19. 町屋研究会
- 20. 生活道路研究会
- 21. 空地・空店舗活用イベント事業

地区内のまちづくり市民団体

●一新まちづくりの会
PTA活動が発端となって1989(平成元)年設立。地藏祭や城下町イベント、福祉など幅広い活動が続いている。



●熊本新町獅子保存会
獅子舞は、熊本城築城のころから伝えられているが、昭和30年代後半ごろに新町全町の若者が集まり保存会ができた。



●一新地域商店会連絡協議会
1999(平成11)年11月、一新校区内の7商店街で結成。平成15年町の駅を拠点に一新小の商い体験実施。平成16年ハートショップ新町希望の家を開設。



●肥後手まり唄頭彰会
1959(昭和34)年、文林堂横に狸の像が誕生したことをきっかけに発足。平成3年市電洗馬橋電停キョトパーク完成後、募金活動による親子狸設置。平成7年中央郵便局ポストの上に手紙をもらい喜ぶ狸の像設置。平成8年新熊本百景に選定。毎年2月親子狸誕生会開催。



●五福ふれあいまちづくりの会
平成3年発足。五福地域開発センターを拠点として、町の再発見、マップ作成、川の清掃、祭(浪漫フェスタ)等に取り組む。



●慶徳校区まちづくり委員会
平成14年から、地球環境の保全と再生をテーマに校区の子ども達と身近な環境の美化や自然体験学習に取り組む。



●唐人町通り繁栄会
熊本最古の商店街。平成2年電線地中化を契機として活動が活発化。毎年7月第4土曜「古今恋唐人町まつり」に取組む。



●風流街(ふるまち)商栄会
平成17年4月発足。五福ふれあいまちづくりの会の若手店舗経営者の「スキモノ」による現代の旦那衆をめざす会。風流街浪漫フェスタを引き継ぎ主催していく。



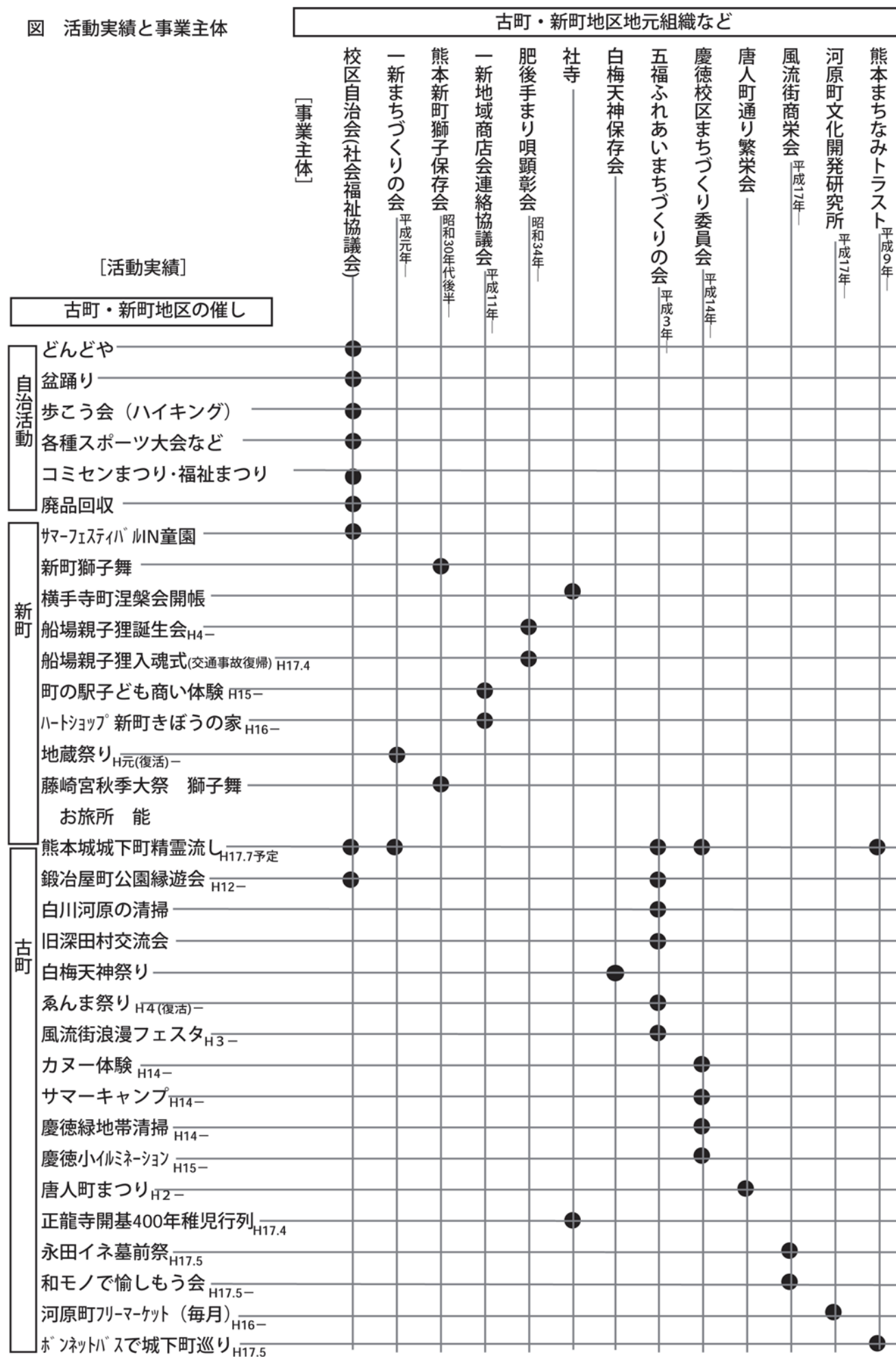
●河原町文化開発研究所
平成15年3月1号店開店。その年に「全国都市再生モデル調査」で後押し、現在20店舗を超え、共同事業もこなす。



●熊本まちなみトラスト
平成9年設立。「記憶の継承」を基本コンセプトに、明日の熊本を語り行動する市民団体。



図 活動実績と事業主体

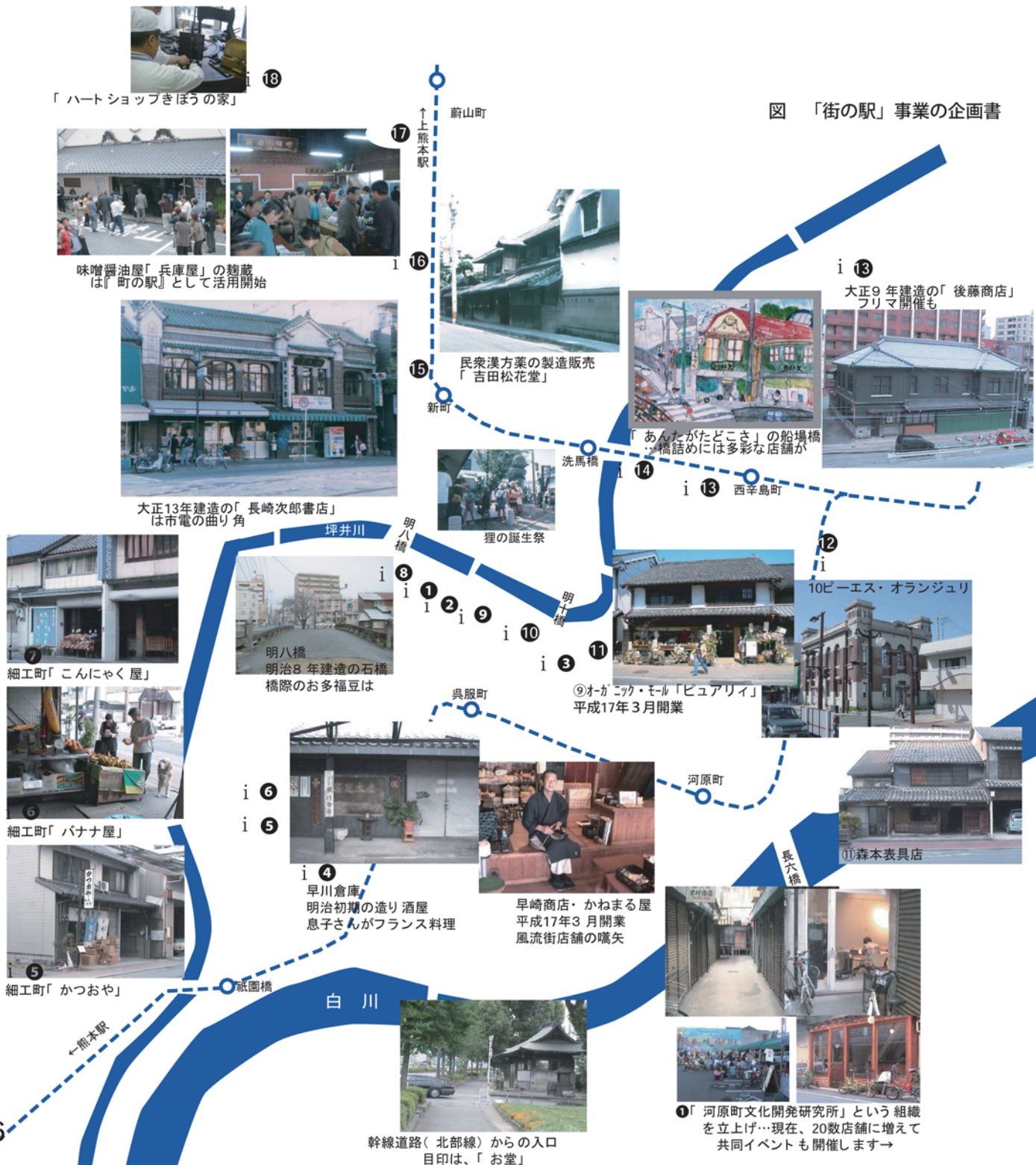


②モデル事業による団体協働事業への取り組み

前述の団体が新町・古町で一体となり連携しながら一つの事業に取り組む。事業メニューの6事業がこれにあたる。平成17年7月2日に試行した「古町街の駅」事業を以下に示す。新町で先行している「町の駅」と共に新町・古町全域を対象とした団体協働事業の推進が望まれる。

〔団体協働事業〕

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 7. 坪井川遊び(屋形船)事業 | 12. マップ作成事業(地藏御利益健康ウォーク/案内ルート) |
| 8. 人力車(ペロタクシー)による回遊 | 16. まちの駅の設定、運営事業 |
| 9. 一新勉強会の開催/古町歴史調査事業 | 17. 既存イベントの連携・紹介事業 |
| 10. 旧町名・社寺等説明サイン事業 | 23. 景観形成建造物の保存と活用の組織づくり事業 |



試行実験「古町街の駅」

■日程 7月2日(土)午後4時～6時

■集合: 午後4時★旧明八橋 ■ゴール: 午後6時★河原町アップフィールド

■街の駅 とは、散策する来街者に対して、買物しなくても立ち寄れる事業所や店。街の駅ではマップの配布、道案内、休憩、トイレが使える等、提供出来る範囲のサービスで、古町を来訪される方に来てよかったという印象に残るまちにしていこうことや古町に関心を持って歩く人を増やすことを目標としています。

- 目的 (1) やりながら考える(会議室からまちへ)という姿勢を大切に
 (2) 校区を越えて取り組む(まずは古町のまとまりを)
 (3) 団体協働事業の実践(複数の団体が協働する)
 (4) 街の駅の募集と応募、運営、評価を模擬的に実験



NO	7/2試行「街の駅」	街の駅のサービス				
		看板	マップ	店先案内	トイレ	その他
1	武蔵屋	○	○	○		明八橋～船場橋～熊本城のコースはお薦め。
2	ソルト・ファーム塩工房	○	○	○		座って休憩どうぞ。
3	手芸・服飾の店もりお本店	○	○	○	○	唐人町は座って休憩するところがないので。
4	洋食屋出田	○	○	○	○	界隈のこと知るの自分一人だが出来る範囲で。
5	源zo-ne,キャンドルハウス	○	○	○	○	街の駅看板(サイン)は欲しいですね。
6	(有)松田邦彦青果	○	○	○	○	城への道順は要望に合わせて教えます
7	大和旅館	○	○	○	○	まち歩きと市電を組み合せやすく(定額単一料金に)
8	いさみ屋	○	○	○		道を説明するのに地図は必要。
9	友達屋製菓	○	○	○	○	熊本出身ではないけれど出来る範囲で。
10	かねまる屋	○	○	○	○	冷たいお茶をどうぞ。

③公共事業への住民参加－1.提案事業

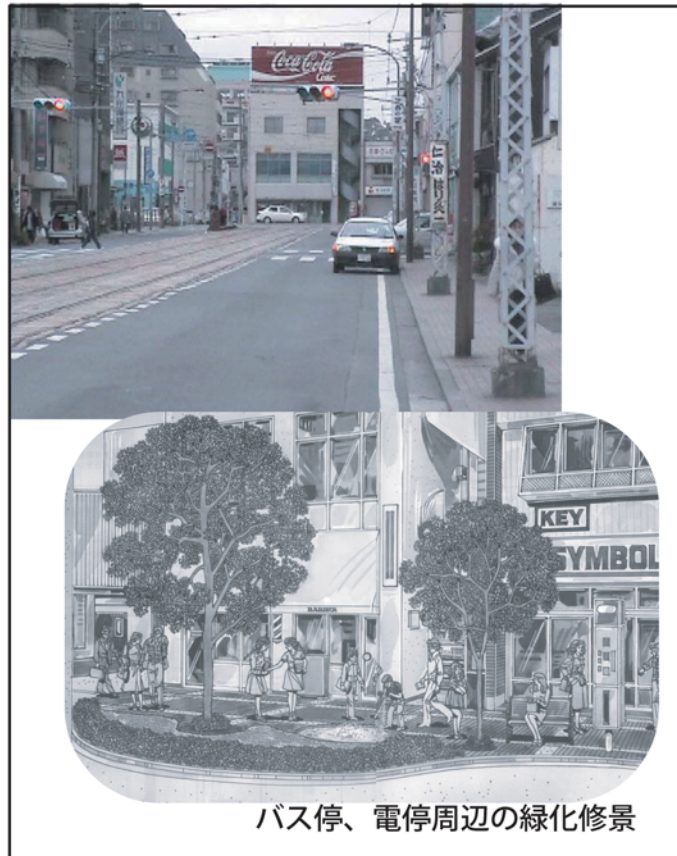


公共事業への住民参加は、例えばフランスの「コンセルタシオン（事前協議）」（1985年法制化、実施義務づけ）に見られるような住民の意思に沿った計画とするために徹底して協議を重ねる方式から、事業そのものを提案公募によって発意していく方法まで幅広く捉えておく必要がある。

ここでは、公共サイドから提案された公共事業に住民が自主的に参加することで、住民サイドで行う事業を誘発していく事例と、住民から提案し、計画立案にも住民が積極的に参加していく公共事業のイメージについて例示する。

〔公共事業への住民参加－1.提案事業〕

1. 柳御門づくりと4つの門の復活提案
2. 古城堀端水路（堀）整備提案
5. 森の都の散歩道提案
6. 電線地中化促進の申し入れ・緑化
10. 旧町名・社寺等説明サイン事業
22. JR在来線新駅・市電の新ライン開設提案



公共施設整備の計画・設計への住民参加の事例〔まちづくり交付金事業（他都市の事例）〕



（予算に合わせて路面や照明を決めた。照明実験などにも地元が参加）

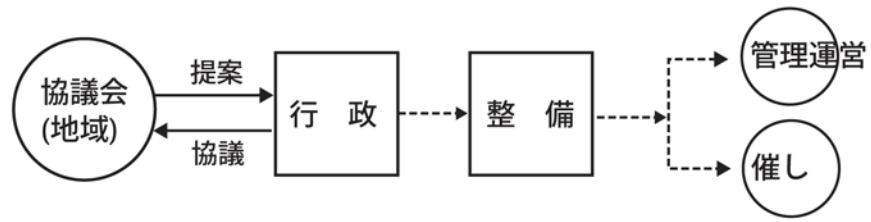


住民参加によって事業推進が図られるだけでなく公共投資の効果が高まる



竣工の日の手作りイベント
（チラシ、左官職人さん指導による子ども泥壁ワークショップ、パネル展示、餅なげなど）

④公共事業への住民参加－2.運営事業



公共事業への住民参加の方法が様々なレベルであることは前述したが、住民参加による自治意識の高まり、という効果は見逃すことのできない重要な点である。ここでは、計画づくりにとどまらず、住民が管理運営まで関わる公共事業のイメージを例示する。

[公共事業への住民参加－2.運営事業]

- (3) おてもやん顕彰事業
- (4) 景観形成広場整備の提案と管理・運営
- (14) 一新歴史資料館開設
- (15) 旧食糧会館再生案作成事業
- (18) まち並みの約束事づくり 城下町独自の店づくり
- (20) 生活道路研究会（道路の歩行者占有化、一方通行）
- 既存公共施設（コミセン等）の地元管理

管理・運営への住民参加の事例

玉名温泉有志

温泉街の清掃と花いっぱい運動



NPO高瀬蔵

中心市街地内の再生された古民家のホールをNPOが管理運営



土地建物：玉名市所有
建物改修：会議所TMO
テナント管理：TMO
ホール管理運営：NPO高瀬蔵

KAOの会

千葉県鎌ヶ谷市のJR鎌ヶ谷駅・駅前広場の管理運営とイベントの実施を行う（委託管理）



唐人町環境整備(公共投資)と地元の維持管理と祭りの開催



唐人町通りの環境整備従前



整備後

環境整備後、「くまもと経済」「湖東カレッジ唐人町校」等が立地

「古今恋唐人町まつり」は平成2年の環境整備された年から続き平成17年で16回目を数える



風流街浪漫フェスタ

平成3年五福地域開発センターの整備に伴い、五福ふれあいまちづくりの会が運営するイベントで、平成17年で15回を迎える。

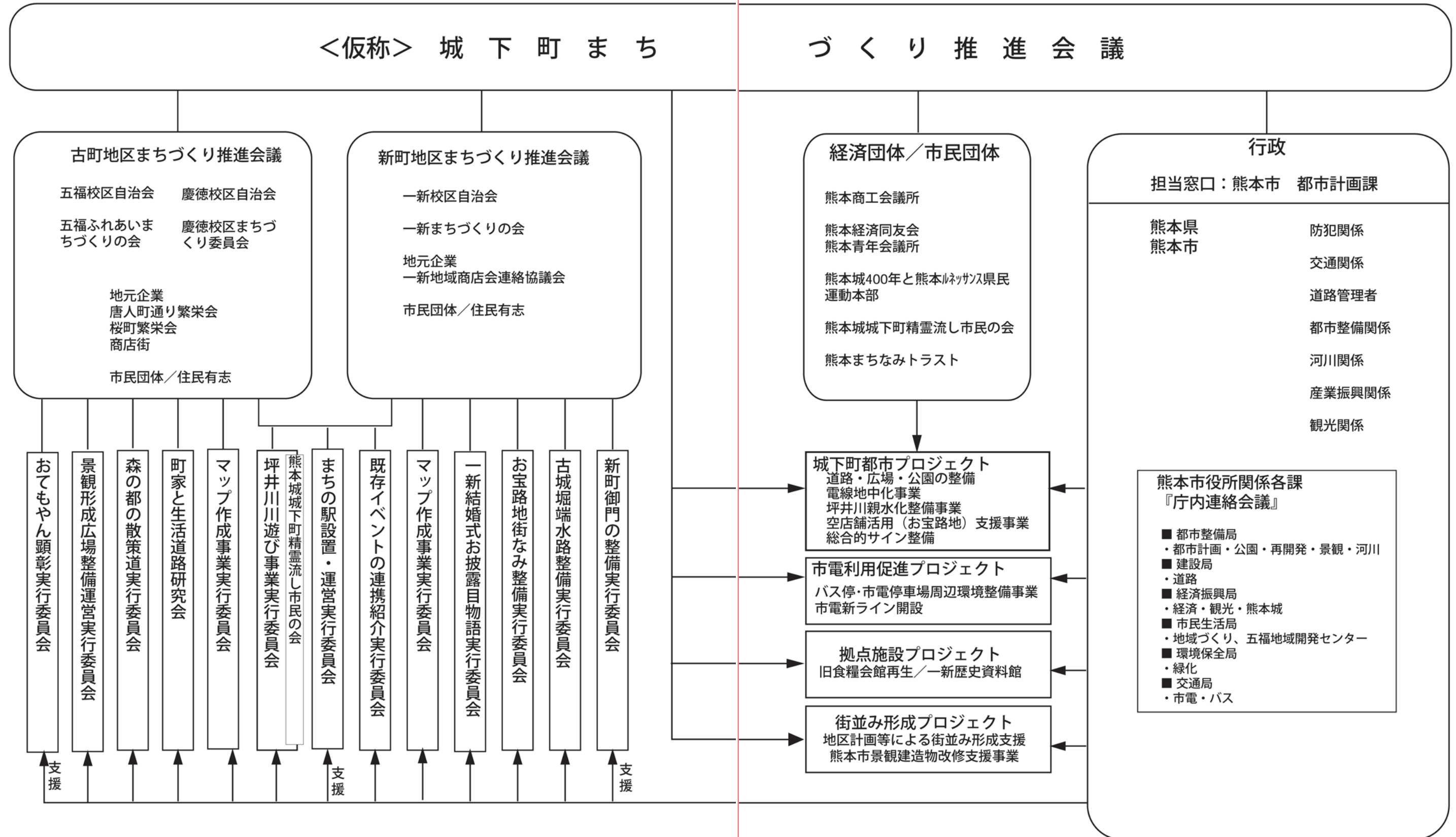
4. 事業推進体制（案）

当計画の策定にあたっては、協議会及び地元ワークショップを開催し、意見交換をしながら事業の抽出を行った。抽出された事業の実現に向け、今後の推進体制を以下のように提案する。提案主旨は以下のとおり。

- ① **実行組織を主役と考え、必要に応じて連携、支援を行う。**例えば、「熊本城城下町精霊流し市民の会」を例にとると、核になるコアメンバーのもとに、新町・古町地区の各種団体がゆるやかな連携と協働を果たした。
- ② **共通の目標を確保するために、地区を越えた協議の場を設置する。**現段階で

は、五福・慶徳校区を古町地区、一新校区（旧城下町部）を新町地区とし、地区別にまちづくり推進会議を設け、さらに両地区合同の推進会議を設ける、という2段階方式をとることが現実的であると思われる。但し、名称を含め、地区区分や合同会議の持ち方等に関しては今後の事業推進を図る中で当事者間で決定していくことが望まれる。また、事業推進の状況把握、体制補強、新たに望まれる新事業の対応や対策についてもここで検討する。

③ **公共事業への住民参加を促進するために、当まちづくり計画に関連する公共事業に関しては、熊本市都市計画課が窓口になり、地元参加の場を積極的に設けていく。**



■名簿

[熊本駅都心間協働のまちづくり協議会]

役職	氏名	平成17年度後任者
熊本学園大学商学部教授	宇野 史郎	
九州東海大学工学部助教授	山田 穰	
八代工業高等専門学校土木建築工学科助教授	磯田 節子	
慶徳校区自治会連合会長	安部 勝己	吉井 靖
五福校区自治会連合会長	寺本 羊次郎	
一新校区自治会連合会長	若松 寿	北村 登
慶徳校区	西嶋 公一	
五福校区	平野 俊晴	
一新校区	富永 國治	
慶徳校区まちづくり委員会	中山 公太郎	
五福ふれあいまちづくりの会会長	川上 靖	
一新まちづくりの会会長	北村 直登	
熊本まちなみトラスト会長	石原 靖也	
熊本新町獅子保存会会長代理	山本 信夫	
唐人町通り繁栄会会長	森尾 秀之	
一新地域商店会連絡協議会会長	橋本 和彦	
熊本放送報道制作局放送部次長	福島 絵美	
ニュースカイホテル副総支配人	緒方 直也	
日本銀行熊本支店支店長	蓮井 明博	
地域経済センター出版部マネージャー	坂井 木綿子	
熊本商工会議所専務理事	牛島 浩	永田 昭三
(社)熊本県バス協会専務理事	名和 俊治	
熊本市交通局次長	阿部 崇熙	
熊本県熊本土木事務所企画調査課主幹	矢野 辰善	前田 竜一
県警本部交通規制課課長補佐	平山 隆美	古庄 幸男
熊本県警熊本北警察署交通官	芥川 和民	村島 正信
熊本県警熊本南警察署地域・交通官	平野 賢一	
五福地域開発センター所長	清水 悟	
経済振興局局次長	西田 俊之	
環境保全局局次長	寺本 敬司	日田 義博
建設局局次長	濱田 清水	加来 英雄
都市整備局局次長	松本 富士男	宮崎 彰

[事務局]	熊本市都市計画課	平成16年度	平成17年度
		佐藤信次	佐藤信次
		福永憲幸	福永憲幸
		田上美智子	松田龍朋
		村上孝之	田中隆臣
		高松良磨	高松良磨
			坂口瑞枝

[ワークショップ企画・運営]	人間都市研究所	富士川一裕	上農淑子

[地区別ワークショップ]

[細工町周辺]	林 俱子	林歯科(女性の会)
	牧野 伸一	五福校区尚歯会 会長
	高島 啓通	大和旅館
	上野 ミチ子	九州洋紙
	山本 武之	五福校区民生委員
	寺本 羊次郎	五福校区自治会長
	松田 清見	松田バナナ
	清永 ヤヨヒ	五福小学校校長
	鳥丸 克彦	五福ふれあいまちづくりの会
	出田 由起則	五福ふれあいまちづくりの会
	西川 真二	五福ふれあいまちづくりの会
	本田 元信	五福ふれあいまちづくりの会
	今村 茂利	白梅天神保存会
	益雪 薫	白梅天神保存会

[米屋町周辺]	清田 順一	五福校区社協長
	小出 伸介	五福校区民生委員
	早川 礼三	早川倉庫
	大石 桂二	大石そば
	福山 映子	九州動物学院
	上村 元三	五福ふれあいまちづくりの会
	平野 俊晴	五福ふれあいまちづくりの会
	勇 嘉浩	五福ふれあいまちづくりの会
	田中 恭徳	五福ふれあいまちづくりの会
	早崎 友治	五福ふれあいまちづくりの会
	虎口 幸雄	五福ふれあいまちづくりの会
	川上 靖	五福ふれあいまちづくりの会
	米村 達乗	五福ふれあいまちづくりの会
	上野 和久	アップフィールド
	村上 和枝	はちどりの木
	長野 聖二	人間建築探検處

[唐人町周辺]	荒尾 信	五福ふれあいまちづくりの会
	隈部 高治郎	五福校区民生委員
	山本 寿八	五福ふれあいまちづくりの会
	村上 博	五福ふれあいまちづくりの会
	反後 人美	ヒトミ・コーポレーション
	小出 史	ソルト・ファーム塩工房
	綾部 恵理子	ピーエス・オランジュリ
	中島 淑子	ピーエス・オランジュリ
	吉村 亜希子	武蔵屋
	坂井 木綿子	(株)地域経済センター
	津軽 ゆか	福屋本店
	池田 祥敬	株式会社古荘本店 総務課
	森尾 英次	森尾絲店
	立石 三博	唐人町のケーキ屋さん
	久世 勝	中唐人町
	歌津 一子	武蔵屋

[山崎町周辺]	中山 公太郎	慶徳校区まちづくり委員会
	柴田 浩志	慶徳校区まちづくり委員会
	大崎 勝喜	アザロンキング
	吉井 靖	ヨシイ写真館
	出田 宏	ヒロデザイン専門学校
	山内 要	消防団
	山崎 貴士	肥後銀行公務部
	西嶋 公一	オフィス・ムジカ
	佐伯 啓介	美花園
	宮田 房之	宮田法律事務所
	工藤 栄一郎	熊本学園大学
	藤好 建史	藤好クリニック

[大学生]	東真由美	草野泰宏	熊本学園大学
	岡本貴博	河津英人	九州東海大学
	桑原昇平		崇城大学

■経過報告

	協議会	ワークショップ	庁内連絡会議
平成16年12月	12/21(月) 第1回協議会 ・当事業の主旨・目的の共有 ・意見交換	古町(慶徳校区、五福校区) 新町(一新校区) 平成16年度新幹線地域活性化事業(熊本県) 第1回 12/7(火) 現状把握とアイデア収集	
平成17年1月		第1回 1/20(木)細工町周辺 1/21(金)唐人町周辺 1/22(土)米屋町周辺 2/5(土)山崎町周辺 事例紹介とまちづくりの課題の抽出	1 ・事業内容説明 ・今後のスケジュール
2月		第2回 2/24(木)細工町周辺 2/25(金)唐人町周辺 2/26(土)米屋町周辺 2/27(日)山崎町周辺 まち案内ゲームと事業メニューの検討1	第2回 1/18(火) 構想図づくりと目標とする地区の姿
3月	3/28(月) 第2回協議会 ・事業メニューの協議 ・まちのあるべき姿について	第3回 2/15(火) 実現に向けて誰が何をしてくか(行動計画)と発表準備	2 ・協議会・WS報告 ・問題点協議 ・協体制確認
4月		4/25(月) 第3回 事業の方向づけについて 方向づけ(7-7)別部会の再編	第4回 3/15(火) 県内各地WSの報告会
5月		5/13(金) 第4回 テーマ別事業の具体化の検討1 事業の進め方について	第5回(自主的開催) 4/16(土) 事業推進に向けて
6月	6/9(木) 第3回協議会 ・協働のまちづくりの目標と事業	5/1(日) 地名研究会と学習会・まち歩き	第5回 6/2(木) テーマ別事業の具体化の検討 事業主体について
7月		7/2(土)16:00-19:00 「街の駅」の試行実験とまち歩き	第6回 7/26(火) まちづくりの目標像の共有と今後の進め方
8月	8/12(金) 第4回協議会 ・事業推進体制 ・まちづくり計画書最終検討		第7回 まちづくり計画書の報告

熊本駅都心間 [新町・古町地区]
協働のまちづくり計画書

2005(平成17)年8月

熊本駅都心間協働のまちづくり協議会